



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2015～2016年度 RI会長 K. R. ラビンドラン
RIテーマ 世界へのプレゼントになろう

クラブテーマ「明るく楽しいロータリー」会長 鈴木政則

副会長 中山和雄 幹事 石井邦夫

第1252回 例会 2015.10.30(金)晴

司会:山口辰哉君 指揮:勝又佳員君
ロータリーソング「四つのテスト」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島
TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 鈴木政則君



さて今日は、国際ロータリーよりポリオ撲滅についてメールが届きましたのでお伝えさせていただきます。

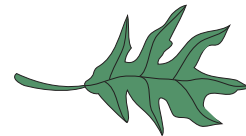
これまでの10年間というもののアフリカはポリオ撲滅に近づきながらも、大きな進展は見られない状態が続いて

きました。しかし嬉しい事に、こん日、野生型ポリオウィルスによる最終の発生から丸1年が経過しています。これはポリオのないアフリカに向けて大きな進展です。この1年間のポリオ無発生に至るまでには、その関係者の方々の並々ならぬ努力と決意、又、投与するための非常な困難を乗り越えてきました。そして今、不可能とさえ思われた「ポリオのないアフリカ」を実現しようとしています。しかしこの進展の中でも油断は禁物です。パキスタンとアフガニスタンに残る2つの野生型ポリオウィルスが存在する限り、ポリオウィルスは再び広がり、新たな流行が発生する可能性は十分に考えられます。アフリカだけでなく、全世界からポリオを無くすためには、世界中のロータリーアンの力が是非とも必要なのです。その一貫として、11月23日にアメリカ・アリゾナ州で開催されますポリオ撲滅自転車レースについてご紹介します。この日は世界各地から訪れるロータリーアンとともに自転車レースに参加し、ポリオ撲滅のための募金活動を行います。約167キロのコースを走るこの自転車レースは、毎年9000人以上が参加するアメリカでトップレベルのレースなのです。これにより1000万ドルの募金を集める事を目標に活動しています。今後もロータリーアン一人一人が協力しあいポリオ撲滅に力を入れてまいりましょう。

出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	27/35	77.14%	32/35	91.43%
今回	32/35	91.43%	会員総数	37名
欠席者		あなたが見えなくて残念でした。		

小林君、杉山(順)君、山口(雅)君



今日の料理



幹事報告

幹事 石井邦夫君

1. 次週6日の例会は鈴木会長・石井幹事は地区大会の為欠席しますので、代行の方どうぞよろしくお願ひします。
2. 篠木会員のメールアドレスが変更になりました。
shinogigakuen@gmail.com



2620地区野口英一ガバナー年度も早や4か月目に入りました、公式行事のガバナー公式訪問はさる8月19日(水)三島・伊豆中央・三島西・せせらぎ三島の4クラブ合同例会をブケ東海三島にて、8月27日(木)には 御殿場・裾野・長泉クラブの3クラブ合同例会として御殿場名鉄菜館にて行われました。皆様のご協力により盛大に開催することができました。

ガバナー補佐の役割はガバナー方針の伝達と各クラブの状況をガバナーに報告すると同時に目標に対して助力する、となっております、今年度の地区目標につきましてはいかがでしょうか。

クラブの10年後を考えた時やはり会員増強が必要不可欠であります。会員増強から国際大会への参加まで10項目の目標が掲げられています、年度後半に向け目標達成をめざし活動をいたしましょう。

今年度の地区大会は甲府にて開催され11月6日(金)、11月7日(土)の2日間の開催、二日目の静岡第2分区の分区分屋台は「伊豆長岡温泉まんじゅう」です、現在「せいろ」から湯気の出る装置を作成中です、当日をお楽しみにしてください、11分区の屋台がそれぞれの地域を代表するお土産を用意しております。

年度後半の来年となりますがIM開催のお知らせです、せせらぎ三島RCの担当として 2016年2月20日(土)ブケ東海三島にて開催予定、矢岸実行委員長をはじめ委員が準備を進めております。

国際ロータリー年次大会(ソウル大会)につきましては2016年5月28日～6月1日 本会議は5月29日ですが野口ガバナーは当2620地区より250名の参加を呼び掛けています。

年度も後半に入ります、地区目標、クラブ目標に向け鈴木会長のもと会員皆様のご活躍を願っております、本日はありがとうございました。



山本良一君:本日は卓話です。皆様のご協力をお願い致します。

仲原実圭君:先日のゴルフ同好会コンペに参加されたみなさま、お疲れ様でした。次回の12月のコンペも多数の参加をお待ちしております。

篠木喜世君:富士精工(株)兼子悦三様よりご寄贈いただきました防災用ろうそくを園児165名に配布させていただきました、保護者から感謝のことが沢山ありました。ありがとうございます。

土屋 巧君:先日のゴルフコンペでうちの嫁がベスグロ優勝させて頂きまことにありがとうございました。嫁は上機嫌で帰りの家路は楽でした。今後ともよろしく願います。

澤田 稔君:本日は久しぶりで出席です。最近あまり出席しないので忘れがちだと除籍されそうですので無理して出席です。

兼子悦三君:当クラブのゴルフコンペでドラ矩、ニヤピン、ブービーと賞を取り過ぎました。この次も取ります。

大房正治君:お先に失礼致します。

石井司人君:早退させていただきます。

ROTARY NEWS

ロータリーとシェルターボックスがシリア難民を支援

2011年から内戦が続くシリアでは、毎日6,000人以上が国外に逃れています。9月現在で登録された難民数は410万人以上に上り、760万人以上が国内で避難生活を強いられています。現在の世界の難民数は「過去最悪」であると、国連は報告しています。

「シリア難民の苦境により、今、世界の“思いやり”が試されている」と話すのは、国際ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長です。「世界中のロータリー会員は、シリアや世界各地での難民問題に深く心を痛めています。私たちは、避難を強いられた人びとの苦しみと不安を和らげるために、行動を起こすよう会員に呼びかけています。ロータリー会員は、職業スキルと知識、そして各地域リーダーとの人脈を駆使して、地元の人びとを結集させ、この人道的危機に取り組むことができます」支援の一つの方法として、ロータリーのパートナーである非営利団体、シェルターボックスによる災害救援活動への寄付も行われています。シェルターボックスはこれまで4年近くにわたり、国連難民高等弁務官事務所と協力してシリア難民に救援物資を提供してきました。また、欧州へと移動する際にギリシャとトルコを通過する難民のために、仮設住居と生活物資の提供も行っています。多くのシリア難民が、命の危険を冒して海を渡り、ギリシャへとやってきます。

ヒューコ事務総長はこう語ります。「何百万という難民の支援に力を注いでいるロータリークラブと会員の皆さまに心から感謝しています。難民生活を強いられたすべての方々には、深い同情を感じています」